



安全データシート
Safety Data Sheet

整理番号 012-4116

作成 2014年4月3日
改訂 2022年5月22日

1 化学品及び会社情報

化学品の名称（製品名） 012-4116 シンナーMK

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社名称、住所 ロックペイント株式会社 大阪市西淀川区姫島3-1-47
通常連絡先 品質保証部 TEL: 03-3640-2250 e-mail: tokyo-hinshitsu@rockpaint.co.jp
緊急連絡先 大阪本社 TEL: 06-6473-1551

推奨用途 希釈剤、洗浄剤
使用上の制限 情報なし

2 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

引火性液体 : 区分2

急性毒性 経口 : 区分に該当しない
急性毒性 経皮 : 区分に該当しない
急性毒性 吸入 (気体) : 区分に該当しない
(蒸気) : 区分4
(粉じん/ミスト) : 分類できない

皮膚腐食性/皮膚刺激性 : 区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分2
呼吸器感作性 (固体/液体) : 分類できない
(気体) : 区分に該当しない

皮膚感作性 : 分類できない
生殖細胞変異原性 : 分類できない
発がん性 : 区分2
生殖毒性 : 分類できない
(追加区分) : 分類できない

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 区分1 : 分類できない
区分2 : 腎臓
区分3 : 気道刺激性、麻酔作用

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 区分1 : 神経系
区分2 : 中枢神経系

誤えん有害性 : 分類できない
水生環境有害性 短期 (急性) : 区分に該当しない
水生環境有害性 長期 (慢性) : 区分に該当しない
オゾン層への有害性 : 分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 危険

危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気
 吸入すると有害
 皮膚刺激
 強い眼刺激
 発がんのおそれの疑い
 臓器の障害のおそれ
 眠気又はめまいのおそれ 呼吸器への刺激のおそれ
 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害
 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

注意書き

・安全対策（予防策）

使用前に取扱説明書を入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
 容器を密閉しておくこと。
 容器を接地しアースをとること。
 防爆型の機器を使用すること。
 火花を発生させない工具を使用すること。
 静電気放電に対する措置を講ずること。
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
 取扱い後は顔、手等をよく洗うこと。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

・応急措置（事後的な漏出及びばく露、並びに応急措置及び救急措置）（対応策）

皮膚に付着した場合：多量の水／石けん又は皮膚用の洗剤で洗うこと。
 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
 特別な処置が必要である。
 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
 汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 火災の場合：消火するために粉末消火器、耐アルコール性泡消火器又は炭酸ガスを使用すること。

・保管（貯蔵）

施錠して保管すること。
 換気の良い冷暗所に容器を密閉して保管すること。（5℃～40℃）

・廃棄

内容物／容器を関連法規ならびに地方自治体の基準に従い適切に廃棄すること。

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	CAS RN	濃度範囲
メチルソフチレート	108-10-1	1～5 %

メチルシクロペン

78-93-3

95～100 %

4 応急措置

吸入した場合

蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かくし安静にする。
蒸気、ガス等を吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には、医師に連絡すること。
呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。
嘔吐物は飲み込ませないようにする。
直ちに医師の手当を受けること。

皮膚に付着した場合

付着物を布にて素早く拭き取る。
汚染された衣類を取り除くこと。
大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。
溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

眼に入った場合

直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
出来るだけ早く医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないこと。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

適切な保護具（保護眼鏡、防護マスク、手袋等）を着用する。換気を行う。

5 火災時の措置

適切な消火剤 炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂、霧状強化液

使ってはならない消火剤 水、棒状強化液

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

指定の消火剤を使用すること。
適切な保護具（耐熱着衣など）を着用する。
消火活動は風上より行うこと。
可燃性の物を周囲から、素早く取り除くこと。
高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却すること。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業の際には適切な保護具（耐溶剤・耐薬品手袋、有機ガス用防毒マスク、保護服、保護眼鏡等）を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
付近の着火源、高温体および付近の可燃物を素早く取り除く。
着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

環境に対する注意事項

河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
乾燥砂その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。
漏出物は、密閉出来る容器に回収し、安全な場所に移す。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

容器内の圧力が高くなっている場合は蓋を少しゆるめて圧力を抜き蓋を外す。
 作業中は有機溶剤蒸気及びミストにさらされるので、防毒マスク（フィルタ付）又は送気マスク、耐溶剤手袋、耐薬品手袋、保護眼鏡、保護服、安全靴などの保護具を着用すること。
 タンク、地下室のような密閉された場所における作業には、局所排気装置を付けること。
 作業時は局所排気装置を稼働させて有機溶剤蒸気・粉じん等が滞留しないようにすること。
 周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。工具は火花防止型のものを使用する。
 静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は防爆型（安全増型）を使用する。
 作業中は、帯電防止型の作業服、安全靴を使用する。
 作業場に着火源となるものを持ち込まないこと。万一の出火に備えて適切な消火器を準備すること。
 換気のよい場所で取り扱う。容器はその都度密栓する。
 長時間作業する場合は、送気マスクを着用すること。
 取り扱い後は手・顔等をよく洗いうがいをする。休憩所等に汚染保護具を持ち込まないこと。
 作業後の乾燥は換気量を十分に確保し、臭気が無くなるまで換気を継続すること。

保管

換気の良い冷暗所に容器を密閉して保管すること。 (5℃～40℃)
 火気、熱源から遠ざけて保管する。
 転倒、転落しないように注意する。
 盗難防止のために施錠保管する。

8 ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

物質名	管理濃度	ACGIH TLV
メチルイソブチルケトン	20ppm	20ppm
メチルエチルケトン	200ppm	200ppm

設備対策

取扱設備は防爆型を使用する。
 排気装置を付けて、蒸気・粉じん等が滞留しないようにする。
 液体・粉体の輸送、汲み取り、攪拌などの装置についてはアースを取るように設備すること。
 取扱場所の近くには高温、発火源となるものが置かれられないような設備とすること。
 屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用する等、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置などにより作業者が暴露から避けられるような設備とすること。
 タンク内部等の密閉場所で作業をする場合には、密閉場所、特に底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。

保護具

有機ガス用防毒マスク（フィルタ付）又は送気マスクを着用する。
 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
 取扱いには保護眼鏡を着用すること。
 取扱う場合には、皮膚を直接曝させないよう化学薬品が浸透しない材質の衣類を着用すること。

9 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	無色透明
臭い	溶剤臭
融点／凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	79.6～117℃
可燃性	情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	下限： 1% 上限： 12%
引火点	-2℃
自然発火点	460℃

分解温度	情報なし
pH	情報なし
動粘性率	情報なし
溶解度	情報なし
n-オクタノール／水分配係数	情報なし
蒸気圧	9492Pa (20°C)
密度及び／又は相対密度	0.81(20°C)
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	情報なし

10 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	通常の条件では安定である。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	燃焼又は強熱すると有害な煙霧・ガスを発生することがある。 (一酸化炭素、窒素酸化物など)

11 有害性情報

成分毎の有害性情報

メチルイソブチレート

急性毒性（吸入：蒸気）	区分3
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2B
発がん性	区分2
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分3(気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分1（中枢神経系）

メチルブチレート

急性毒性（吸入：蒸気）	区分4
皮膚腐食性/刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2A
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分2(腎臓)
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分3(気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分1(神経系)

製品有害性 製品としての安全性試験をしていない。

12 環境影響情報

生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

成分の水生環境有害性情報及びオゾン層への有害性情報

メチルイソブチレート

情報なし

メチルシクロ
情報なし

13 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

残余廃棄物

- 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
- 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- 排水処理・焼却などにより発生した廃棄物についても、廃清法及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。
- 廃塗料・容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。
- 特別管理産業廃棄物（廃油）に該当するので、許可を受けた産業廃棄物業者に委託して処理する。

汚染容器および包装

- 空容器は内容物を完全に使い切ってから処分する。
- 許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。

14 輸送上の注意

国連番号	1263
品名（国連輸送名）	塗料又は塗料関連物質
国連分類	3 引火性液体類
容器等級	II
指針番号	128
海洋汚染物質	該当しない
国内規制がある場合の規制情報	

陸上輸送

- 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
- 荷送り人は運送者に運搬注意書（イエローカード等）を交付する。

海上輸送

- 船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送

- 航空法の定めるところに従うこと。

15 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

労働安全衛生法

通知・表示及びリスクアセスメント対象

メチルシクロ	1～5 %
メチルシクロ	95～100 %

労働安全衛生法施行令 別表第一	引火性の物
有機溶剤中毒予防規則	第二種有機溶剤等
特定化学物質障害予防規則	

メチルシクロ	1～5 %	第二類
有機則準用による有機溶剤の区分	第二種有機溶剤等	

鉛中毒予防規則	該当しない
化学物質排出把握管理促進法（PRTR）	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない

その他の適用される法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

消防法	危険物第四類第一石油類（非水溶性）
-----	-------------------

16 その他の情報

参考文献

JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法

JIS Z 7253:2019 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル,作業場内の表示
及び安全データシート(SDS)

GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物用(塗料用)〕改訂第4版(日本塗料工業会)

原料メーカー安全データシート

TLVs and BEIs:2011 (ACGIH)

注意

この安全データシートは、安全な使用と取り扱いを確保する為の参考情報として現時点で入手できる、正確であると信用出来る資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、多くの情報は弊社外の情報源から入手したものであり、その正確性、確実性を保証することは出来ません。

また、製品についていかなる保証をするものでもありません。

記載している健康・安全に関する注意は総ての人・環境・安全・健康面の影響を網羅するものではなく総ての原料には未知の危険有害性の存在する可能性がある為、取扱には十分な注意が必要です。

製品には化学物質を含んでおりますので、不特定多数の方が利用される場所・物への使用に際しては、塗装の事実を立看板等で告知するなどし、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への十分な配慮を行ってください。

使用におかれましては、関係法令に従うと共に、この安全データシートを参考に、ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定の上ご使用下さい。また、本製品を弊社が指定する材料以外のものと混合される場合、又は弊社が指定する仕様以外の特殊な条件で使用される場合には、ご使用者各位において安全性をご確認の上、ご使用下さい。

最新の情報を入手された場合は、最新情報の内容に従って安全にご使用下さい。